

平成21年度 特別会計の決算状況

●老人保健特別会計

歳入	1,067万円	一般会計からの繰入金や繰越金でまかなわれています。
歳出	1,042万円	医療給付費などの月遅れ請求分や前年度の精算金として支出されます。

●国民健康保険特別会計

歳入	23億7,298万円	国民健康保険税 6億2,055万円 医療給付費分1人あたり約7万円 他に、国・県からの交付金や一般会計からの繰入金でまかなわれています。
歳出	22億6,319万円	療養給付費・療養費 13億7,534万円 医療費(保険負担分)1人あたり約21万円 他に、後期高齢者医療、介護保険などにお金として支出されます。

●後期高齢者医療特別会計

歳入	1億7,864万円	後期高齢者医療保険料 1億2,928万円 被保険者1人あたり約6万円 他に、一般会計からの繰入金でまかなわれています。
歳出	1億7,581万円	後期高齢者医療広域連合納付金 1億6,789万円 他に、保険事業などにお金として支出されます。

●介護保険特別会計

歳入	13億5,061万円	介護保険料 2億5,745万円 被保険者1人あたり約5万円 他に、国・県からの交付金や一般会計からの繰入金でまかなわれています。
歳出	13億1,427万円	介護給付費 10億7,273万円 介護サービス利用(保険負担分) 被保険者1人あたり1月で約17万円 他に、介護予防事業などにお金として支出されます。

●下水道事業特別会計

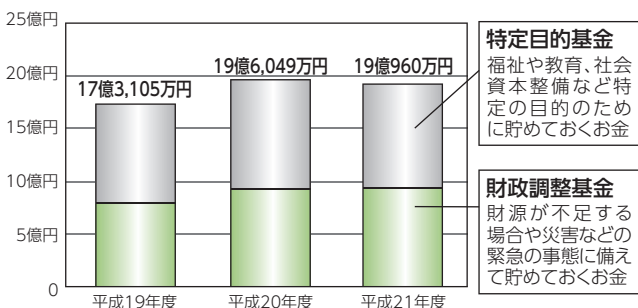
歳入	10億6,371万円	下水道使用料 1億8,344万円 他に、一般会計からの繰入金や国・県からの交付金、町債(町の借金)でまかなわれています。
歳出	10億3,067万円	公債費 4億8,573万円 (下水道工事などのために国や銀行などから借りたお金の返済などに使われるお金) 下水道事業費 3億4,175万円 (下水道工事などに使われるお金)

基金と町債の状況

◇町の貯蓄は、どれくらいあるの？

基金(町の貯蓄) 現在高状況

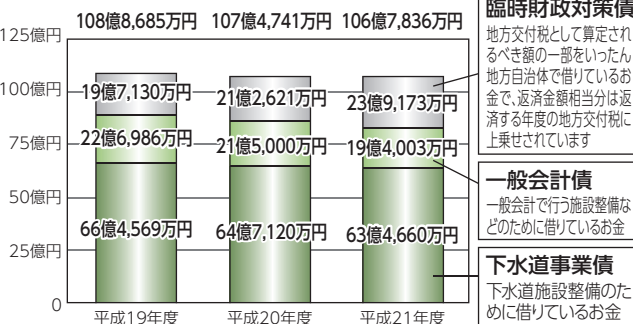
平成21年度の基金現在高は、前年度に比べて約5千万円減少しました。



◇町の借金は、どれくらいあるの？

町債(町の借金) 現在高状況

平成21年度の町債現在高は前年度に比べて約7千万円減少しました。



財政健全化比率の公表

地方公共団体の財政健全化に関する法律により、笠松町の平成21年度健全化判断比率の4指標と公営企業における資金不足比率を公表します。

この指標が基準値(早期健全化基準)を超えると財政再建

平成21年度健全化判断比率の4指標

1. 実質赤字比率 該当なし【早期健全化基準:15%】

一般会計等の赤字の程度を示します。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。
平成21年度の笠松町は黒字のため、実質赤字比率は該当ありませんでした。

3. 実質公債費比率 8.0%【早期健全化基準:25%】

借入金の返済額やこれに準じる額の大きさを示しています。数値が大きいほど資金繰りが悪化していることを表します。
笠松町は早期健全化基準を下回っていますが、平成20年度の比率は7.9%で、前年度と比較して0.1%増加しています。

団体の予備軍として、財政健全化計画の策定の義務付など、自主的な改善努力による財政健全化を図ることになります。

笠松町の平成21年度の健全化判断比率・資金不足比率は次のとおりです。

2. 連結実質赤字比率 該当なし【早期健全化基準:20%】

特別会計や企業会計などすべての会計を合算して、町全体としての赤字の程度を示します。数値が大きいほど財政運営が深刻化していることを表します。
平成21年度の笠松町は黒字のため、連結実質赤字比率は該当ありませんでした。

4. 将来負担比率 77.8%【早期健全化基準:350%】

借入金や将来的に支出することが見込まれる現時点での残高を示しています。数値が大きいほど将来、財政を圧迫する可能性が高いことを表します。
笠松町は早期健全化基準を大きく下回っていますが、平成20年度の比率は68.7%で、前年度と比較して9.1%増加しています。

平成21年度公営企業における資金不足比率

公営企業の料金収入の規模に対する資金不足額の程度を示します。数値が大きいほど経営状況が悪化していることを表します。
水道事業、下水道事業とも資金不足額が発生していないため、資金不足比率は該当ありませんでした。

資金不足額なし【経営健全化基準:20%】